

# High School Human Rights 43

(高校人権教育通信 第43号)

令和8年(2026年)1月27日

発行 長野県教育委員会事務局 心の支援課

発行人 向井健太郎(心の支援課長)

MAIL kokoro@pref.nagano.lg.jp

## <はじめに>

スポーツの場はすべての人に開かれていますか？

スポーツは誰もが楽しめる平等な場であり、生徒の人間形成に大きな影響を与えます。しかし、性的マイノリティの人々にとっては、孤独や不安を感じる場所になることもあります。教育の現場から、誰もが安心して参加できるスポーツの未来を考えていきましょう。

## 考えてみよう：顧問としての対応は？

事例：あなたが顧問を務める運動部に、トランスジェンダー女性であることをカミングアウトした生徒A（男子として入学）が入部しました。Aさんから「大会は女子の部に参加したい」と申し出があった場合、あなたはどのように対応しますか？

## 多様な性とは？

### **LGBTQ+に該当する人の割合は少なくとも3.5%**

「家族と性と多様性にかんする全国アンケート」  
(2023年実施)

<https://zenkoku-chosa.jp/>



#### ●トランスジェンダーとは

生まれた時に割り当てられた身体の性別(生物学的性)と、自分が認識している心の性別(性自認)が一致しない人を指す

#### ●WHO(世界保健機構)は2019年、「性同一性障害」を「精神障害」から除外し、「性別不合」へと名称を変更

#### ●SOGIE(ソジー)とは

*Sexual Orientation* (性的指向)

*Gender Identity* (性自認)

*Gender Expression* (性表現)

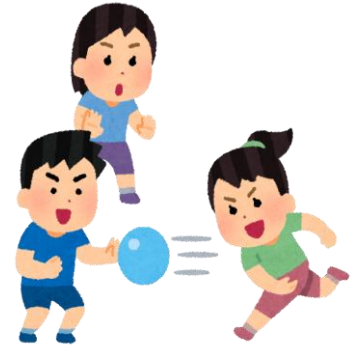
の頭文字を合わせた呼称であり、「多様な性」を理解するための「視点」を示す言葉です。LGBTQ+は特定の当事者グループを指すのに対して、SOGIEは全ての人に関係するという普遍的な言葉です。



## 国際的にはどうなの？

IOC（国際オリンピック委員会）は、選手が性自認等を理由に排除されないよう、以下の指針を提示しています。

1. 排除がないこと
2. 被害の防止
3. 差別を容認しない
4. 公平性
5. 優位性に関する推定を行わないこと
6. 根拠に基づくアプローチ
7. 健康および身体の自律性の優先
8. 関係者を中心に据えたアプローチ
9. プライバシーの権利の尊重
10. 定期的な見直し



<https://www.ioc.or.jp/olympism/principles/document/>

## 顧問としての指導のポイントは？

### 1 本人の尊厳を守る

・・・正しい知識を身に付け、生徒本人の意思を最優先にする

### 2 学校組織で対応

・・・プライバシーを守りつつ、他の部員との関係性を大切にする

### 3 環境(ハード・ソフト)の整備

・・・競技連盟等のルールを確認するとともに、安全に活動できる状況を作る努力をする

アウティングは厳禁・・・本人の同意がない状態で第三者へ話をすることはプライバシーを侵害する行為です。必ず本人の同意を得てから支援を行いましょう。

### <おわりに>

すべての生徒にはスポーツを楽しむ権利があり、スポーツはその人の人生を豊かにする可能性を秘めています。誰もが自分らしく生きることが尊重されることによって人権は守られます。性自認や性的指向に関わらず、みんなが安心して活動できる環境を整えていきましょう。

この通信は、日本スポーツ協会啓発ハンドブック  
『体育・スポーツにおける多様な性のあり方ガイドライン  
～ 性的指向・性自認（SOGI）に関する理解を深めるために～』  
を参考にして作成しました。

<https://www.japan-sports.or.jp/medicine/tabid1242.html#01>

